

2017 Japan National Team Report "監督"



報告者氏名	宇田川 智
大会名	European Optimist Championship
開催地	ブルガス (ブルガリア)
大会期間	7/30~8/6 2017

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
 2. 他国OP艇を接見して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	成田~モスクワ~ブルガス。トランジットは1回。ブルガス空港から現地までは車で30分弱。
旅行代理店	特になし。ネットで検索してチケットも宿も探した。
渡航費用	15万円人。ロシアに特に詳しい代理店にてチケット購入。
エントリー料	選手 470ユーロ 役員 550ユーロ
一人当たりの宿泊費用	9泊で一人あたり、26000円 1泊2888円。食事なし
その他食料費	55000円程。物価は日本と比べると5~6掛くらい。とにかく安かった。
チャーター料金	OP 390ユーロ サポートボート 1300ユーロ (1/2 シェア)

大会本部の対応	非常に良かった。
チームリーダーミーティングの様子、内容	前田コーチにお任せした(英語が聞き取れるので)、基本SIに記載していることの確認等が主で補足としての説明を毎朝していた。
選手達の様子で気がつけたこと	病気のけがをしないように。モチベーションが下がらないように気がつけた。
食事はどうでしたか	うまい。どの料理を食べても味がしっかりしていて、まずいと思ったものが全くなかった。 外食も何度かしたが、物価が安く、遠慮なく選手はおなかいっぱい食べた。 唯一ランチパックは毎回殆ど同じでサポーターが食し、選手は少しだけ食べていたようだ。
セキュリティなどで気がつけたことはありましたか。	やたら、盗まれる、なくなる。ということを知っていたので必ず誰か居るように心掛けた。
荷物に関して工夫したこと	セールはポイド管で4人分運んだ。盗まれないように、また、目立つように黄色の袋に日の丸とTEAM JAPANの文字をいれた。また、チャーターした付属品で使用しない物はホテルに保管して、オーニング等の荷物は一カ所にまとめた。艇、キャリアー、オーニングには日の丸のシールを貼って識別できるようにした。
日本との通信状況、手段	WiFiを介して、最近は画像、音声ともに送れた。
他国チームとの国際交流の実施	主にTシャツ・ハチマキ等の交換で交流を深めた。選手4人でトータル7~80枚ぐらい交換できたと思う。大会期間中JAPNのTシャツを着ていた選手が多かった。
持参してよかった食品、医薬品等	お米、レトルトごはん、カップラーメン、ウイダーインゼリーなど。
次回参加者へアドバイス	ヨーロッパ選手権は交換が盛んなので、多めに用意しておくといい。
JODAへの要望	メンタルトレーニングの強化が必要。
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会